

◆ 市債・一時借入金

市債の状況

市債は、公共施設の建設などに要する財源を補う目的と、将来その施設などを利用する方にも建設経費を負担していただく（世代間負担の公平）という2つの目的を持っています。

● 市債残高

一般会計	98億7,029万円
羽村駅西口土地 区画整理事業会計	17億9,913万円
下水道事業会計	57億5,901万円
水道事業会計	38億918万円
計	212億3,761万円

一時借入金の状況

9月30日現在、借入れはありません。

このほか、繰入金、諸収入について、増額措置を行いました。

都支出金は、「被災農業者向け経営体
育成支援事業」に係る都補助金のほか、「
風しん等ワクチン予防接種事業」に係
る都補助金と委託金を措置するととも
に、東京都教育委員会が実施する言語
能力向上推進事業について、市内の小
中学校3校が推進校の指定を受けたこ
とから、都委託金を歳出と同額で措置
しました。

繰越金は、平成25年度一般会計決算
の確定に伴い、4億4710万円を措
置しました。

普通交付税は、地方消費税交付金が
増となるなど、算定基礎となる基準財
政収入額が増加したことに伴い、交付
決定額が当初予算額に対し減少したた
め、1億4640万円減額しました。
国庫支出金については、女性特有が
ん検診事業の充実に伴う国庫補助金な
どを措置しました。
都支出金は、昨年度に引き続き、保
育士などの処遇改善事業に係る補助金
と消費生活相談の機能強化などに対す
る「消費者行政活性化交付金」などを
措置しました。

衛生費では、水痘予防接種が今年10
月1日から定期接種化されることに伴
い、事業実施に係る予防接種委託料な
どを措置しました。
教育費は、災害時に避難所となる小
中学校体育館の非構造部材耐震改修工
事に係る設計業務委託料などを措置し
ました。
このほか、市役所庁舎空調中央監視
装置修繕料や夜間急患センター修繕料
などの経費を措置するとともに、前述
した歳入に合わせ必要な事業費を措
置しました。

◆ 基金・財産

基金の状況

基金は、将来計画している事業の財源として、また、年度間の財源を調整することなどを目的として積み立てている資金です。

● 基金残高

一般会計	45億2,446万円	
内訳	財政調整基金	19億9,497万円
	減債基金	215万円
	特定目的基金	25億2,734万円
特別会計	1億5,285万円	
計	46億7,731万円	

市有財産の状況

土地	58万8,979㎡
建物	15万5,603㎡

補正予算の状況

平成26年度上半期の一般会計補正予
算の状況は次のとおりです。

1号補正（6月議会）

補正額 7430万円

補正後予算額 209億5430万円

歳入

地方交付税は、今年2月の大雪で深
刻な被害を受けた農業用ハウスの再建
などを支援する「被災農業者向け経営
体育成支援事業」に係る特別交付税を
措置しました。
国庫支出金は、臨時福祉給付金事業
および子育て世帯臨時特例給付金事業
について、システム開発委託料などに
係る国庫補助金を歳出と同額で措置し
ました。

歳出

前述した歳入に合わせて、「被災農業
者向け経営体育成支援事業」や「風し
ん等ワクチン予防接種事業」などの事
業費を措置するとともに、今年4月の
人事異動に伴う職員人件費の組替えを
行いました。

2号補正（9月議会）

補正額 6億1500万円

補正後予算額 215億6930万円

歳入

市税は、一部大手企業の業績が伸び、
当初予算額と比べ増収となったことか
ら、市民税法人分を4億5000万円
増額しました。

歳出

繰入金は、5つの特別会計の決算剰
余金を措置するとともに、財政調整基
金繰入金の一部繰戻しを行いました。
諸収入は、市役所庁舎への太陽光発
電システム設置工事実施設計に係る補
助金などを措置しました。

市債は、普通交付税の算定に合わせ
て、臨時財政対策債の今年度の発行可
能額が確定したことに伴い、当初予算
額との差額を減額措置しました。

歳入

総務費では、市税等収納対策に伴う、
差押え過払い債権の取立て訴訟に係る
弁護士料などを措置しました。
民生費では、制度改正に伴う児童扶
養手当システム改修委託料などを措置
しました。

衛生費では、水痘予防接種が今年10
月1日から定期接種化されることに伴
い、事業実施に係る予防接種委託料な
どを措置しました。

教育費は、災害時に避難所となる小
中学校体育館の非構造部材耐震改修工
事に係る設計業務委託料などを措置し
ました。

このほか、市役所庁舎空調中央監視
装置修繕料や夜間急患センター修繕料
などの経費を措置するとともに、前述
した歳入に合わせ必要な事業費を措
置しました。

伝統文化交流事業 in ゆとろぎ

入場無料・入場券を11月18日(火)から配布します

「茨城県磯節保存会」

茨城県ひたちなか市・那珂湊の郷土の民謡と、はむらのこどもたちの踊り

那珂湊のまちは、那珂川の河口にあつて江戸時代は東北地方のお米などを輸送する中継基地として、明治以降は漁業基地として繁栄しました。

茨城の民謡を代表する磯節は、まちと豊かな自然に育まれて誕生・成長し、豪快で情緒豊かで品位に満ちた民謡に成長しました。

磯節をはじめ茨城県那珂川流域の民謡を紹介します。

日時 平成27年1月10日(土)午後1時30分～(開場午後1時)

1部 羽村市日本舞踊若竹の会公演

歌舞伎踊、相馬盆唄、伊勢音頭、京の四季、黒田節 ほか

文化庁の支援事業「伝統文化親子教室」で、日本舞踊の基礎を半年間学んだ成果を子どもたちが発表します。

2部 茨城県磯節保存会の公演

磯節、那珂湊八潮祭り囃子、茨城大漁節、網のし唄 ほか

「アイヌの人々のお話と、唄と踊り」

アイヌの人々は、自然と調和し、生活の糧を得て、船を操り周辺の民族と交易を行っていました。

アイヌの音楽は、楽器の音色に独特な味わいがあり、唄も心に響きます。衣装、工芸は素朴ですが力強さがあります。

この機会にアイヌ文化を体験・鑑賞し、交流してみませんか。

日時 平成27年1月17日(土)午後5時～(開場午後4時30分)

出演 関東で活動するヤイレンカの会とペウレウタリの会、札幌で活動するアイヌアートプロジェクトの皆さん

1部 アイヌの人々の生活と信仰・唄と踊り

ウタリオブパレワ(輪踊り)・シツチヨチヨイ(豊年踊り) ほか

2部 アイヌ伝統文化の伝承と復元・創造

イタオマチブ(外洋船)復元のお話と、伝統を受け継いだ現代の音楽

協力 公益財団法人アイヌ文化振興・

研究推進機構(札幌)

同財団からアイヌ文化活動アドバイザー派遣事業に基づきヤイレンカの会の皆さんを派遣していただいています。

共通

会場 ゆとろぎ大ホール

定員 800人(先着順)

入場料 無料(入場券を11月18日(火)からゆとろぎ窓口で配布、1人3枚まで、定員に達し次第受付終了。)

※当日は入場券を持参してお越しください。

問合せ ゆとろぎ ☎ 570-0707



▲磯節



▲アイヌ音楽の演奏



はじめてみませんか バードウォッチング

郷土博物館の周辺で、冬鳥を探してみませんか。野鳥の観察の仕方から双眼鏡の使い方まで、野鳥観察初心者でもわかりやすい観察会です。

日時 12月14日(日)午前10時～正午(小雨決行)

観察場所 郷土博物館周辺

集合・解散場所 はむらん「羽村市郷土博物館」バス停前

参加費 100円(保険代込み)
※中学生以下は無料

持ち物 飲み物・双眼鏡(持っている方)

講師 日本野鳥の会奥多摩支部

※事前予約は不要です。当日、直接集合場所へお越しください。

問合せ 郷土博物館 ☎ 558-2561



▲アオジ



▲ツグミ



▲ジョウビタキ